



広島陵北ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB HIROSHIMA-RYOHOKU

The Weekly Report

よいことの
ために
手を取りあおう

クラブテーマ

こころゆたかなロータリアン

本年度会長方針

利他の心で喜びを分かち合おう

【2025-26年度テーマ】
フランチェスコ・アレッツォ氏

第1585回例会 2026年5月27日No.1560

会長時間



会長 武田龍雄

皆さんこんにちは。本日は、新会員の方に卓話をいただくことになっております。谷口さん、尾山さん、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、恒例の日本の古来からのカレンダーであります24節気ですが、今月5月も二つありまして、7番目となります5日の「立夏（りっか）」と、8番目となります21日の「小満（しょうまん）」があります。「立夏」は春分と夏至の中間に位置し、日差しが強まり、木陰の緑が鮮やかな新緑へと変わる頃のことを言い、本格的な夏の気配が立ち始める時期を意味します。この日を境に、手紙などの時候の挨拶も春の「残春の候」から、夏の「初夏の候」などへと切り替わるようです。そもそも立夏を含む立春、立夏、立秋、立冬は「四立（しりゅう）」と呼ばれ、各季節の大きな区切りとされ、その前日は「節分」として、邪気払いの行事が行われていたそうです。現在では立春の前日だけを指しますが、もともと節分は年4回あったそうです。

次に「小満」ですが、「小満」とは、あらゆる生命が満ち満ちていく時期のことを言い、太陽の光を浴びて、万物がすくすく成長していく季節とされておりま

す。聞きなれない「小満」という言葉ですが、秋に蒔いた麦などに穂が付き、作物が順調に育っていることを確認したことに由来しているそうで、お百姓さんが「今のところは順調だ」とほっとして「少し満足した」ことから「小満」と呼ばれるようになったと言われています。また「小満」は秋に蒔いた小麦が成熟する時期であることから、この時期に降る雨を「麦雨（ばくう）」、麦畑に吹き渡る風は「麦嵐（むぎあらし）」とも呼ばれています。「立夏」も「小満」も、穏やかな時代の穏やかな言葉ですが、今年はエルニーニョ現象も激しいようで、今年の夏は厳しい暑さや豪雨が予想されるとの記事もありましたので、会員の皆さんには適度の水分と塩分を早めに補充して、厳しい夏を過ごして頂きますようお願いいたします。以上、本日の会長時間とさせていただきます。

細則改定（案）について



6月2日 ※6月3日（水）の変更のプログラム

中内雅也会員 綾部耕二会員

6月9日 ※6月10日の変更のプログラム

新会員歓迎夜間例会

出席報告
(例会運営委員会)

5月27日出席者

会員総数	49名
出席会員	34名
欠席会員	15名
ご来賓	0名
ご来客	0名
ゲスト	0名

来客者紹介
(親睦家族委員会)

5月27日出席者

幹事報告（平岡栄作）

1.お知らせ

・次週の例会は、6月2日（火）12：30から開催となりますのでお待ちのないようご注意ください。広島RCと例会開始が重なる為駐車場が混み合う可能性があります。

・6月3日から7日にベトナム国際奉仕事業を行ってきます。出席される方はロータリーバッジをお忘れないうようお願い致します。

・2026-2027年度地区大会仮登録のご案内を配布しております。出席は回覧にてお願い致します。クラブから貸切バスを出しますので乗車の希望もご回答ください。なお、理事役員・委員長・入会3年未満の方は出席義務となります。

・インターシティミーティング報告書を配布しております。

・友好クラブの台北松山RCより台湾で2026年10月18日から10月23日開催されます国際ロータリアンゴルフ連盟（IGFR）主催の世界選手権へのお誘いがありました。参加をご希望の方は事務局までご連絡ください。

ロータリー財団表彰



誕生会員スピーチ



会員卓話

新会員卓話

谷口隆子会員 尾山直大会員



ニコニコBOX

SMILE BOX

武田龍雄会員 平岡栄作会員 龍山永明会員 村竹正樹会員

谷口君、尾山君、本日の卓話よろしくお願いたします。

当日計

19,000円

累計

915,287円